



各位

会社名: AI フュージョンキャピタルグループ株式会社
(コード:254A 東証スタンダード市場)
代表者名: 代表取締役社長 澤田 大輔
問合せ先: 管理本部長兼財務経理部長 清水 幸雄
(TEL: 03-6261-9511)

連結業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

本日付「2026年3月期 決算短信〔IFRS〕(連結)」で公表しました2026年3月期(2025年4月1日~2026年3月31日)の連結業績につきまして、前期実績値(2025年3月期、2024年4月1日~2025年3月31日)との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2026年3月期通期連結業績の前期実績との差異

(単位: 百万円)

	売上収益	営業利益 (△損失)	税引前利益 (△損失)	親会社の所有者 に帰属する当期 利益(△損失)
前期実績値(A) (2025年3月期)	3,088	1,427	1,419	668
当期実績値(B) (2026年3月期)	3,297	△1,387	△1,395	△1,231
増減額(B-A)	209	△2,814	△2,814	△1,899
増減率(%)	6.8%	-	-	-

2. 差異が生じた理由

当期(2026年3月期)の売上収益は、前期比で6.8%増加し、3,297百万円となりました。これは、金融ソリューション事業及びその他の売上高が減少する一方で、前期に連結子会社化した株式会社ショーケースの通期での売上収益への寄与及び株式会社ラバブルマーケティンググループの連結子会社化により、DXソリューション事業及びマーケティングソリューション事業の売上高が増加したこと等によるものです。

営業利益は、前期の1,427百万円に対し、2026年3月期は△1,387百万円となりました。これは、金融ソリューション事業において保有する有価証券につき、前期は評価益となり同事業セグメント



全体で 502 百万円の営業利益となったのに対し、当期は評価損となり同事業セグメントで△422 百万円の営業損失となったこと、また、前期に計上した ReYuu Japan 株式会社の株式売却益の反動等によるものです。

なお、2027 年 3 月期につきましては、本日付「2026 年 3 月期 決算短信〔I F R S〕(連結)」で公表の通り、当社は、グループ全体の売上規模拡大を重視した成長戦略を本格化し、売上収益 13,000 百万円、営業利益 1,000 百万円、税引前利益 1,000 百万円、当期利益 850 百万円、親会社の所有者に帰属する当期利益 500 百万円を見込んでおります。

以上